

昭和初期の香り漂う県庁舎別館。
近代における山梨ゆかりの人物の
功績などを紹介しています。

旧知事室

残された当時の家具類や
写真などから、創建時の
知事室の内装を復元しまし
ました。昭和初期の香りを
感じてください。



※令和4年5月7日～令和5年3月31日まで、旧知事室としての展示は休止



県政歴史展示室

昭和初期の知事応接室です。当時の雰
囲気を感じられる空間としました。
中央のモニターで県政の歴史などをご
覧いただけます。



*撮影:GlassEye Inc./海老原一己

3階 正庁

県庁内の特別な行事
を行う場所です。残さ
れた写真から当時の
姿に復元しました。年
間10回程度講座等
も開催します。



人物紹介室

テーマに沿って9人の人
物を詳しく紹介します。
中央では、近代化の象
徴である中央線管子ト
ンネルの歴史を映像で
紹介しています。

ふるさと人物伝

子ども向けコンテンツ

「ふるさと人物伝」

キャラクターとなった人物の
クイズを楽しみながら人生の
転機などが学べます。



導入展示室

導入映像とともに50人の人物が皆さまを
お迎えします。人物の功績や人物が残した
言葉などをお伝えしています。

現在、新型コロナウイルス
感染拡大防止対策として、
タブレット端末など接触を
伴う展示の一部を休止し
ております。

2階展示施設

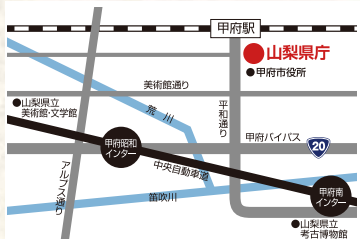
Information

開館時間 午前9時から午後5時(入館は4時30分まで)
休館日 第2・第4火曜日 12月29日～1月3日
その他展示替え等により臨時に休館する場合があります
入館料 無料

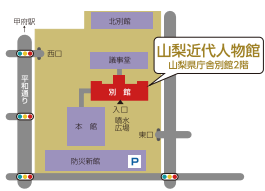
山梨近代人物館

The Museum of
MODERN YAMANASHI HISTORICAL FIGURES

山梨県甲府市丸の内1丁目6番1号 山梨県庁舎別館2階
TEL.055-231-0988 FAX.055-231-0991
<https://www.pref.yamanashi.jp/ykj/index.html>



山梨県庁構内図
愛称:オープンガーデンやまなし



防災新館地下駐車場をご利用ください(駐車無料)

県庁舎別館展示施設
山梨近代人物館
創建時の姿によみがえった県庁舎別館において、
近代山梨の発展に貢献した人物や県政のあゆみについて紹介しています。

第16回展示 2022年9月23日(金)・祝～2023年3月21日(火)・祝

最新の情報はホームページ等でご確認ください。



山梨近代人物館は、概ね明治時代から戦前までの間、農林業、政治・経済、国際交流、教育、芸術、学術など幅広い分野で活躍した人物50人の中から毎年2回ずつテーマに沿って9人の人物を紹介しています。

甲府盆地東部の峡東地域は「東郡」とも称され、養蚕業やブドウ栽培などの特徴的な産業に恵まれ、経済的にも豊かな地域でした。「東郡」の人々は、わが国の製糸業やワイン醸造を主導していき、現在にもつながる山梨の経済や文化を形成していきました。また、「甲州財閥」と称される多くの鉄道人を輩出した地域でもあり、わが国の交通網の形成に大きな貢献を果たしています。



たかの まさ なり
高野 正誠
Masanari Takano

(甲州市 1852~1923)
土屋龍憲とともにフランスへ渡りワイン醸造技術を習得。帰国後山梨県の葡萄栽培、ワイン醸造の発展に尽力。技術書『葡萄三説』を著してその普及に努めた。



つか もと さだ え もん
塚本 定右衛門
Sadaemon Tsukamoto

(滋賀県 1861~1948)
明治40年(1907)の大水害で大きな被害を受けた山梨県に植林復興事業費を寄贈した。これを元に植林された山林は「塚本山」と名付けられている。



はつ た たつ や
八田 達也
Tatsuya Hatta

(山梨市 1854~1916)
生涯を通して養蚕の技術改良や養蚕業者の組織化を進めた。また『蚕事輯説』や『新撰養蚕書』などの技術書を刊行した。



あめ みや けい じ ろう
雨宮 敬次郎
Keijiro Amemiya

(甲州市 1846~1911)
黎明期の製粉・製鉄業や、軽井沢の植林事業のほか、鉄道経営などに関与。「投機界の魔王」「天下の雨敬」などの異名をとった。



ない どう でん え もん
内藤 伝右衛門
Denemon Naito

(山梨市 1844~1906)
山梨県最初の新聞「峡中新聞」(現在の山梨日日新聞)の創始者。印刷・出版業で活躍し、多くの国内外の書籍を山梨に紹介した。



ね づ か いち ろう
根津 嘉一郎
Kaichiro Nezu

(山梨市 1860~1940)
東武鉄道など全国の鉄道経営に手腕を発揮し、「鉄道王」と呼ばれた。県内全小学校へのピアノや教材の寄贈、県立図書館まるごとの寄付など、教育にも足跡を残した。



ほり うち りょう へい
堀内 良平
Ryohei Hariuchi

(笛吹市 1870~1944)
富士山麓の観光開発を構想し、富士山麓電鉄(現在の富士急行)を実現した。「富士五湖」の名称を広めた人物とも言われている。



いい だ だ こつ
飯田 蛇笏
Dakotsu Tida

(笛吹市 1885~1962)
大正・昭和に活躍した近代を代表する俳人。雑誌「ホトギス」において頭角を現したのち、句誌「雲母」の主宰となり多くの後進を育てた。昭和7年(1932)、句集『山廬集』を刊行する。



お がわ まさ こ
小川 正子
Masako Ogawa

(笛吹市 1902~1943)
東京女子医学専門学校(現在の東京女子医科大学)で学び、長島愛生園(岡山県)でハンセン病医療に尽力。その体験を綴った『小島の春』がベストセラーとなり、映画化された。